

山梨県の現状と展望

～マスタープランの改定を迎えて～



山梨県県土整備部都市計画課

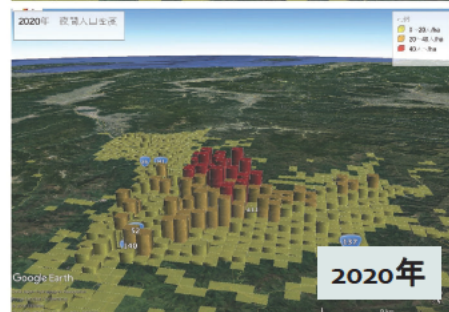
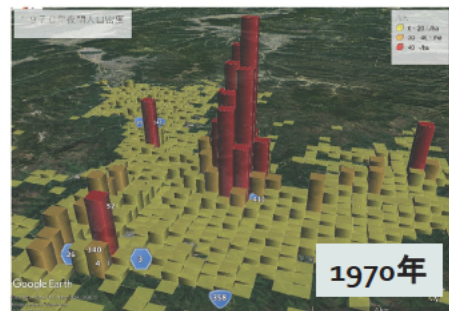
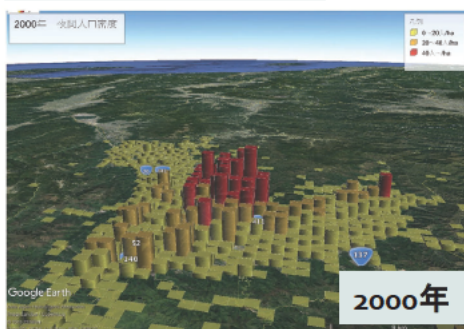
i-都市交流会議2020

1. 山梨県が抱える問題について

山梨県が抱える問題（1～4）の他、人口密度の低下も問題となっている。

1. 人口減少、超高齢社会
2. 公共交通利用と自動車依存
3. 都市機能の拡散
4. 市街地の空洞化 等々

夜間人口密度の変遷

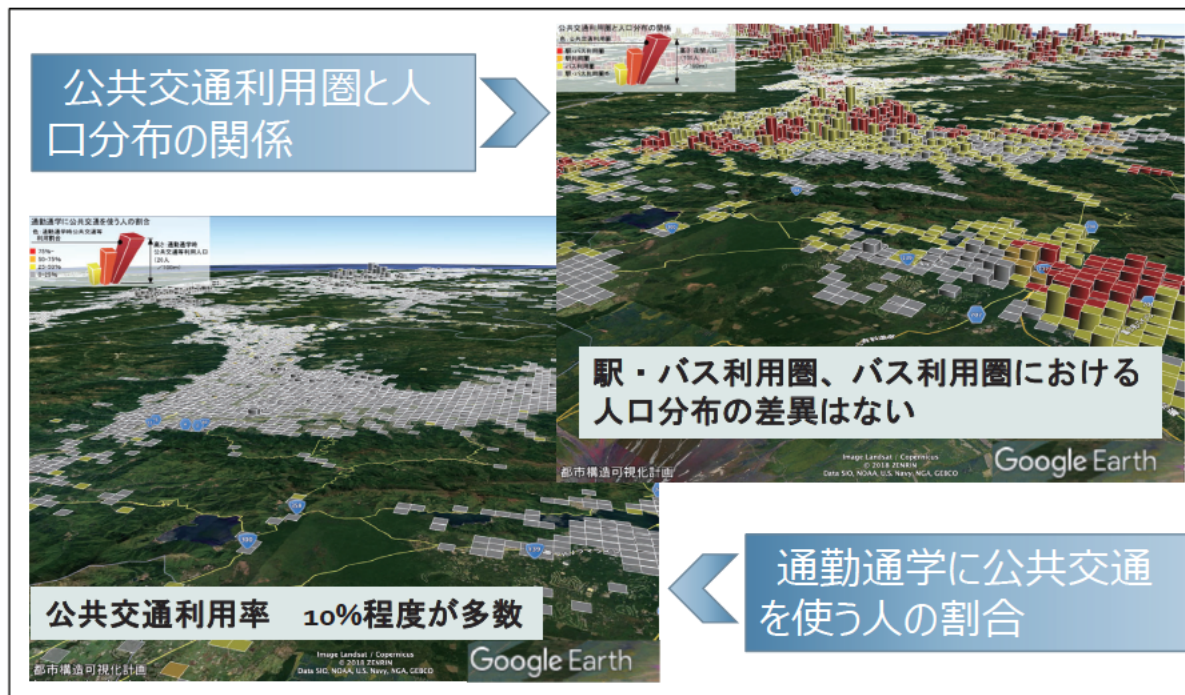


i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画

2. 公共交通利用・人口の集積状況について

公共交通を使う人の割合についてデータを元に分析



i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画

3

3. 目指すべき県土構造について

課題の整理と対応について

県内を2つの広域圏域に分類し、課題、課題に対する方向性を整理

【中西部・南部広域圏域】

課題(抜粋) ①秩序ある土地利用の誘導

⇒都市機能の集約と連携による拠点の整備

市街地の拡散抑制とコンパクトな市街地の形成

②リニア中央新幹線開業による交流・活動の拡大

⇒広域交流拠点と観光・交流ネットワークの整備

【富士・東部広域圏域】(抜粋)

課題(抜粋) ①国際的な観光地の魅力向上に資する基盤整備

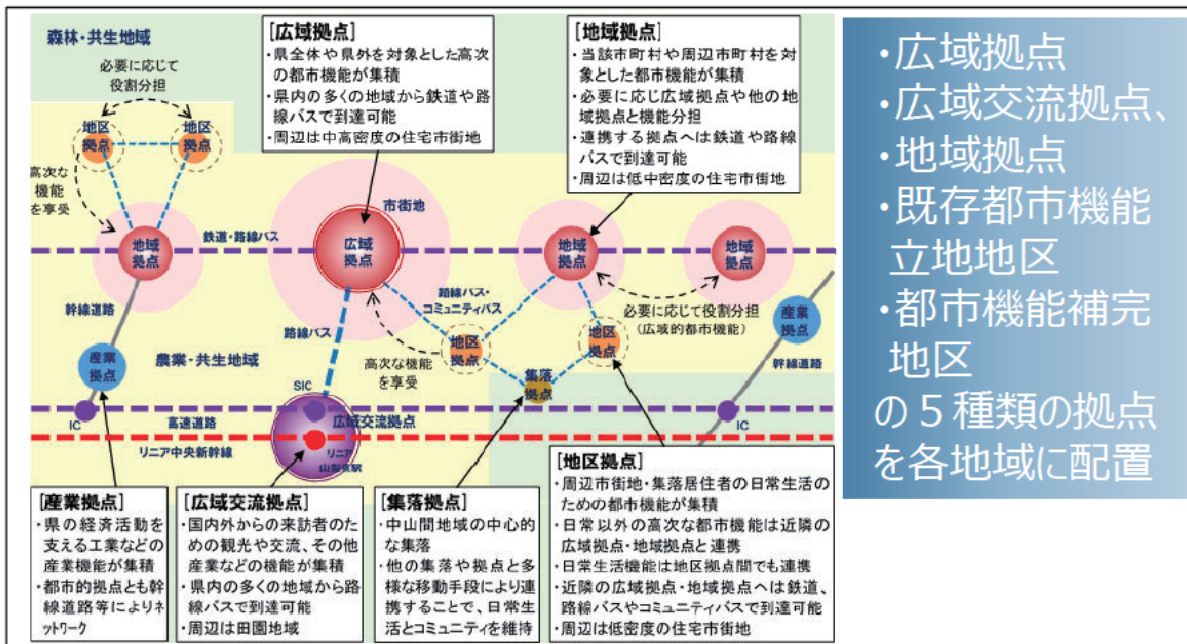
⇒大都市圏とのアクセス向上、豊かな自然・歴史・文化を活かした交流促進と地域振興

i-都市交流会議2020

4

4. 拠点への位置づけ

コンパクトな市街地形成、リニア駅周辺に整備に向けて各地域に拠点を配置

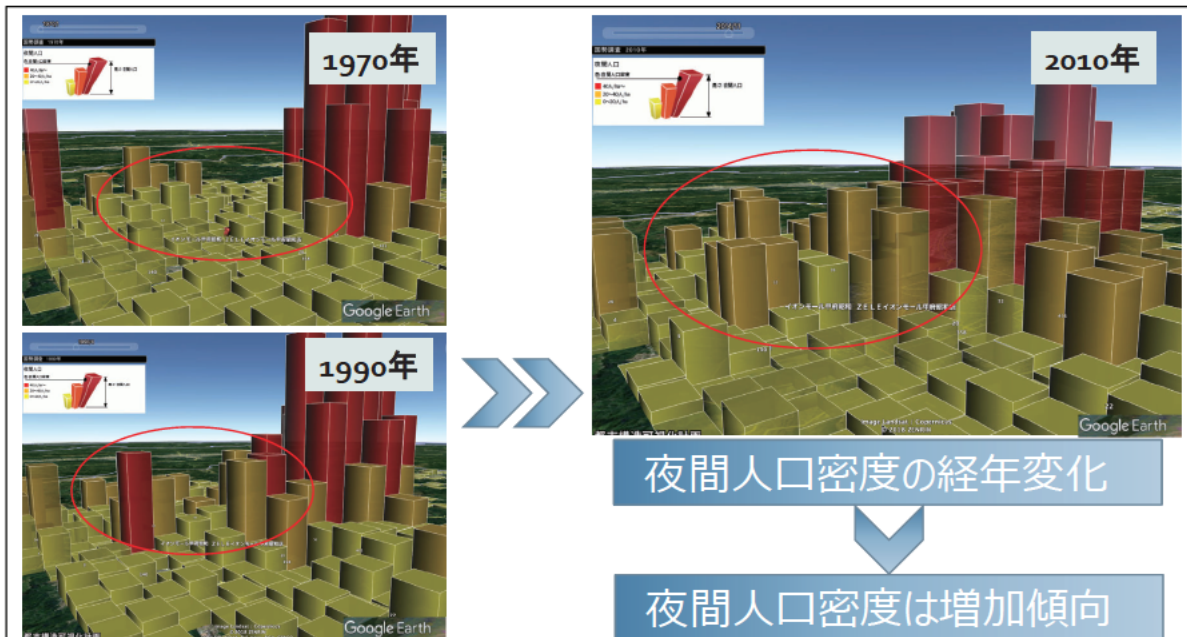


i-都市交流会議2020

5

5. 都市機能の集積状況について

- ・都市機能の集積状況を勘案し、5種類の拠点を各地に選定
- ・拠点に指定された地域の変化（抜粋：昭和町常永地区）



i-都市交流会議2020

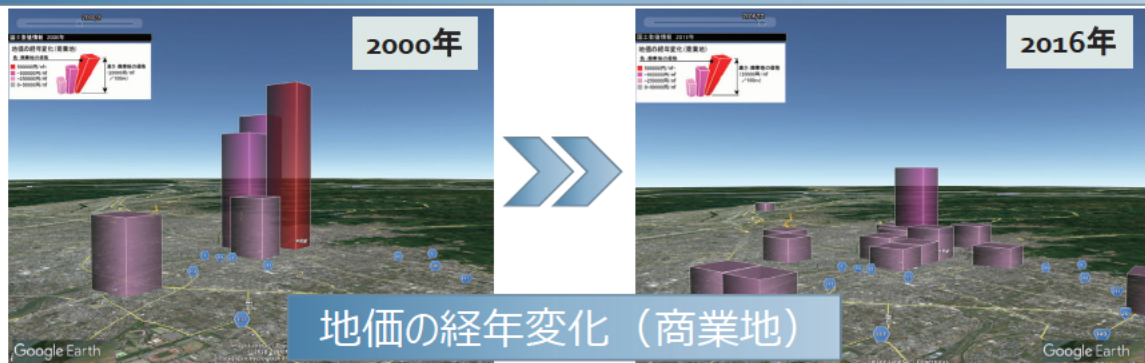
補注：都市構造可視化計画

6

6.まとめ

1. 各地域に拠点を決める⇒都市機能、人口の集積
⇒山梨県版コンパクト+ネットワークを目指す
2. 策定後、PDCAサイクルを構築
⇒マスタープランの実行性を高める

～PDCAのマネジメント・サイクル～
客観的なデータやその分析・評価結果に基づき、都市づくりの状況を検証し、必要に応じて計画の見直しを図る。



i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画

7

山梨県

都市の紹介

笛吹エリア

- ・首都圏からわずか1時間半
- ・桃、ぶどうの生産量日本一
- ・県下最大の石和、春日居温泉郷

小淵沢駅



石和温泉駅



清里・小淵沢エリア

- ・サントリー、シャトレーゼ等工場見学
- ・八ヶ岳、豊かな自然

i-都市交流会議2020

8